

「かほる風」展に寄せて

美術家 西村 一夫 氏

大昔から世界中の建築には、その目的の為に彫刻・絵画・工芸が大きな役割を果たしてきました。病院の建築には、個々の病院の目的と役割があり、その空間や場に相応しい美術作品があるべきかと思っています。

美術品は心と色・形・材料の集合体です。色や形には快・不快という問題もあり、無意識でも敏感に心は反応し、心や体に作用します。美術家のアイデアやメッセージの単なる発表では、目にする人が辛く疲れます。

自分から聞き耳を立てたくなる作品。静かにそっと誘い込んで自由に遊ばせてくれる作品など、見る人を励まし癒してくれるなら心も穏やかに元気になる気がします。病気になるまで気が付かなかった平凡な日常の有難さや、価値観が変わることがあります。

今回の展示は、平凡な日々の情景や、何でもない事や物に創作の原点を見出し、独自の表現を続ける4人の女性作家です。個性豊かで心のこもった作品たちが「かほる風」となって院内を優しく流れることでしょう。



通院、入院されているご本人とご家族の皆様、そして医療従事者の皆様達。大変な毎日を過ごされていると思います。旭川在住の私達からアイランドの音楽と風景をお届けいたします。少しでも気持ち安らいでいただけますように。



アイリッシュハーブ
池野 麻里
オカリナ
竹本 朱美恵

youtu.be/7WiztZ3eYI4



本展の概要

テーマ：びょういんあーとぶろじえくと19-22展(第16回)『Vol.4 - かほる風』展

会 期：2022年3月21日(月・祝)～5月27日(金) 12:00～18:00

美術家：伊藤 幸子 奥野 侯子 佐藤 綾香 高橋 佳乃子

会 場：医療法人北志会 札幌ライラック病院 1F待合室、通路他 札幌市豊平区豊平6条8丁目2番18号 011-812-8822

後 援：札幌市 札幌市教育委員会 (公財)道銀文化財団 (公財)北海道文化財団 NPO法人市民と共に創るホスピスケアの会

主 催：びょういんあーとぶろじえくと

テキスト：西村 一夫 銅谷 健彦

表紙絵：くみこ・M(北の峯学園)

展 示：吉田 恭子

デザイン：井上 始子

撮 影：山岸 靖司

びょういんあーとぶろじえくと19-22展 全日程

vol.1 2019年 小川豊 小山恵 佐藤隆之

vol.2 2020年 上嶋秀俊 野村裕之 山田恭代美

vol.3 2021年 會田千夏 瀬川葉子 日野間尋子 藤山由香

vol.4 2022年 伊藤幸子 奥野侯子 佐藤綾香 高橋佳乃子

vol.5 - 未定 - 安藤文絵 小林麻美 八子直子

ご連絡先

びょういんあーとぶろじえくと代表 日野間 尋子

✉ hpi2022@hinoma.com

🌐 www.facebook.com/Byouinatopurojekuto

🌐 www.hinoma.com/hospitalart/



かほる風 vol.4

びょういんあーとぶろじえくと19-22展(第16回)Vol.4-かほる風
2022年3.21(月・祝) - 5.27(金) 12:00-18:00

表紙絵：くみこ・M(北の峯学園)
会場：医療法人北志会 札幌ライラック病院
1F待合室、通路他
主催：びょういんあーとぶろじえくと



奥野 侯子

Okuno Koko

苫小牧市在住。道展会員。
幼少期の私は、はまなすの
花が咲く海岸線や鉄道に
沿って延びる野草を散策し
ながら通学したものです。
海風、山風に吹かれ、一人、
幻想にふけりながらの帰
路は至福の時間でした。沁
み渡ってゆく喜怒哀楽ともいえる風を全身で楽しんでたのもし
れません。折に触れ、形を変えながら、今も静かに「かほる風」。
そっと優しく寄り添えたら嬉しいです。



高橋 佳乃子

Takahashi Kanoko

岩見沢在住。道展会員。
オホーツク海に近い小さな農
村で暮らしていた小学校低学
年の担任の先生は、教室の片
隅に常時水彩パレットと描き
かけの画用紙を置き、子供た
ちが走り回る休み時間の中で
窓からの風景を描いていまし
た。記憶に残っているのは、晩秋の鉛色の空と暗い色の収穫後のさつ
風景なグレーの畑。当時の私は何処に興味があるのか不思議でしたが、
絵の題材は、身近なところに潜んでいる事を教えてくれた思い出です。大
切なものは身近にある事、さらに作品は回復力を生むきっかけとなる事を
思い制作につなげています。ささやかな思いが届きますように。

● 展覧会

- 2021年 個展 (ギャラリーミヤシタ)
- 2020年 グループ展 ゆらぎととき 色と形と素材 (ギャラリーレタラ)
- 2017年 個展 (ギャラリーミヤシタ)

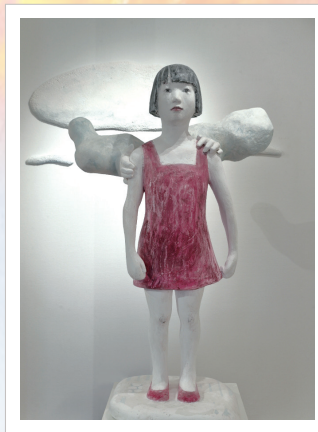
伊藤 幸子

Ito Sachiko

札幌在住。高校入学までは父の転勤で
引越しばかり。大学で彫刻を学び、
2005年に道展会員。現在、高校・専門学
校で講師をしながら制作を継続。直付け
という制作法で芯材に石膏を付けて削
るを繰り返し成形しますが、特に顔は削
り方を少し変えると様々な表情が生ま
れ、昔、住んでいた町の豊かな自然と香
りを纏った誰かが現れたり…。私の作品
を通して心の中の誰かに出会い、想いの旅をして頂けたらと思います。

● 展覧会

- 2021年 個展 (ギャラリーミヤシタ2011年から隔年)
- 2020年 ゆらぎととき 色と形と素材 (ギャラリーレタラ)
- 2014年 Sprouting Garden 「萌ゆる森」 (札幌芸術の森美術館・屋外)



佐藤 綾香

Sato Ayaka

札幌市在住。札幌大谷
大学短期大学部研究生
美術専攻修了。多摩美
術大学大学院研究科博
士前期課程修了。道展
会員。現在は絵画講師
をしながら北海道を拠
点に作家活動を行う。私自身、病院の受診を受けに来た時に、アート作
品が病院の壁に飾ってあるとホッとします。ここは、身体を癒すための
前向きな場所だと感じ、自然と不安もほぐれるように感じました。私が
そのように感じたように、皆様の心に温かな栄養をアートによってお届
けしたいと思い制作しました。また、アートというツールを通して医療
従事者の皆様と病院にいらっしゃる患者さんのコミュニケーションに少
しでも役立つ事が出来ればと思います。



● 展覧会

- 2021年 「plus art... fes.2021」 クロスホテル札幌
- 2021年 「JRタワー・アートプラネッツ2021『ART DÉCOR アール・デ
コール』」 * プラニスホール
- 2019年 「佐藤綾香作品展「蝶と祭日」」 * 札幌グランドホテル1階ロ
ビー内グランビスタギャラリー

ホ ス ピ タ ル ア ー ト

ごあいさつ

札幌ライラック病院
総合支援センターらいっく
センター長

鍋谷 健彦 氏

『びよっいんあーとぶろじえくと』
は、医療の場をこころの通った温
もりの感じられる人間らしい空
間に近づけようと、2019年か
ら美術家17名による展覧会とイ
ベントを当院で継続的に開催し
ています(5回開催予定)。昨年
に3回目を終え、本年3月に4回
目『Voor4: かほる風』展を開催
します。
2019年以前の2008年から
も長年にわたって当院にアート
作品を届け続けてくださってい
ます。「病院にかかわる多くのか
たに安らぎやこころのゆとりを
持つて過ごして頂きたい」という
願いから。
この願いを原点とするアート活
動は院内にとどまらず、患者・家
族・町内会、地域社会に広がり、
今では「地域に開かれた病院」を
目指す当院の取り組みになくて
はならないものになっています。
コロナ禍である今、地域と医療従
事者を繋ぐ手段、患者・家族と医
療従事者の心にゆとりを届ける
手段として『Voor4: かほる風』
展に我々は期待しています。